

最新情報

G Suite

2017 年 6 月



Cloud Identity

注目のリリース: G Suite での Cloud Identity のサポート

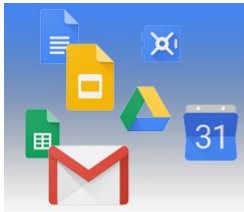
G Suite と Cloud Identity で企業の ID 管理が容易に



Project Fi

場所を選ばず作業°

G Suite をご利用のお客様に Project Fi の提供を開始



シンプルな使い勝手

機械学習を利用して Google スプレッドシートのデータをその場で視覚化



ビジネス対応

Google Vault のデータの正確性や信頼性が向上し、その他の新機能も追加
内部ユーザーの送信メールが検疫されたとき、Gmail 管理者から該当のユーザーへの通知が可能に

Google ドライブでのチームドライブの作成を無期限で無効にする
Asana、Dialpad、Freshdesk などのアプリでのユーザーの自動プロビジョニング

G Suite についてのその他のお知らせ

G Suite のリリース情報を 1 か所で簡単に確認

YouTube の G Suite Show

Google Cloud Connect (GCC) : G Suite 管理者のコミュニティ

G Suite 管理者向けの最新情報の動画



より良いニュースレターをお届けできるよう、ご意見をお聞かせください。

- G Suite チーム、2017 年 7 月 5 日

注目のリリース: G Suite での Cloud Identity のサポート

G Suite と Cloud Identity で企業の ID 管理が容易に

リリース日: 2017 年 6 月 27 日

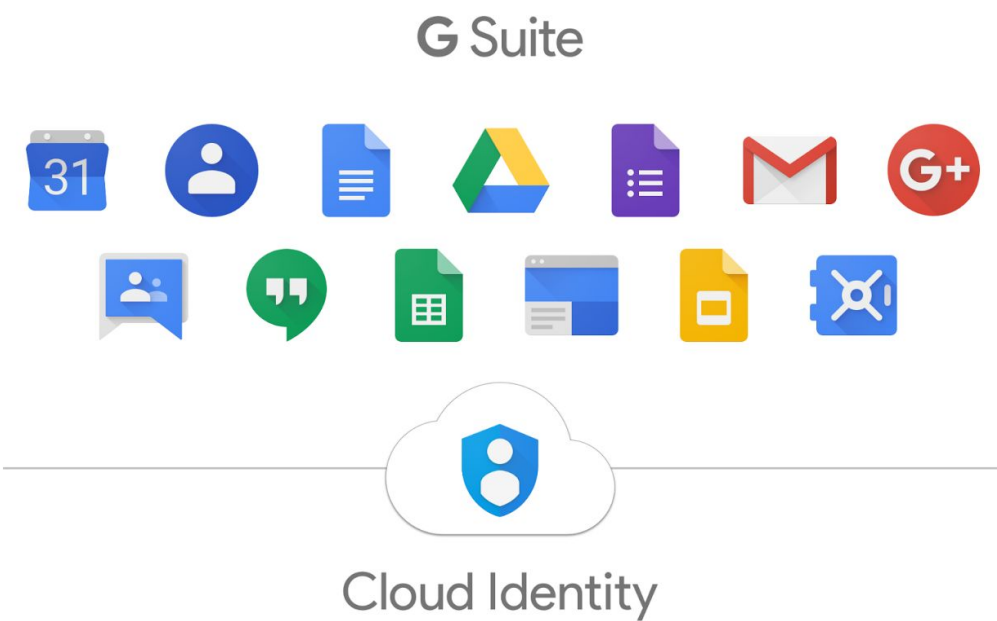
★ 管理者向けの機能

[- トップへ戻る -](#)

最新情報: IT 管理者には、ユーザーが安全にオンライン サービスにアクセスできる環境を整えるという職務があります。G Suite をご利用の数百万社にのぼるお客様が、すでに [Google Cloud の ID 管理サービス](#)（英語）を活用しながら、シングル サインオン、多要素認証、モバイル端末管理といったツールでオンライン ID を保護されています。ところが、G Suite をご利用の組織内部には、G Suite は必要ないものの安全なオンライン ID を必要とするユーザーがいるケースが多数見受けられます。

G Suite で Cloud Identity のサポートを開始
そこでこのたび、G Suite をご利用のお客様向けに、Cloud Identity の新しい無料ライセンスを提供する運びとなりました。このライセンスをご利用になると、G Suite を使用していないユーザーにも Google Cloud Identity サービスへのアクセス権を付与できます。Cloud Identity を使用すると、すべての企業向けクラウドアプリケーションのあらゆるユーザーに対して統合型ログイン機能を簡単に提供できるほか、基本的なモバイル端末ポリシーを設定したり、セキュリティ キーによる多要素認証を適用したりすることができます。

Google 管理コンソールで Cloud Identity を有効にすると、G Suite ユーザーを作成するのと同じ方法で Cloud Identity ユーザーを作成できます。1 つだけ違うのは、これらのユーザーに G Suite ライセンスを割り当てないことです。



今すぐお試しください
Cloud Identity をご利用になるには、Google 管理コンソールの [\[お支払い\]](#) ページにアクセスしてください。このページの [サービスを有効にする] の欄に、Cloud Identity の新しいカードが表示されます。Cloud Identity サブスクリプションを有効にすると、G Suite を使用しない無料のユーザーを作成できるようになります。

詳細については、G Suite 管理者向けの [スタートガイド](#) をご覧ください。

場所を選ばず作業

G Suite をご利用のお客様に Project Fi の提供を開始

リリース日: 2017 年 6 月 27 日



組織で共有

[- トップへ戻る -](#)

最新情報: [Project Fi](#)（英語）を提供することで、自宅、外出先、海外など、どこにいても高品質な接続を確保できるワイヤレス サービスの実現を目指しています。このサービスは、Wi-Fi または Google の 3 社の 4G LTE パートナー ネットワーク間をインテリジェントに切り替えることで、信号強度が最適なネットワークに常に接続するよう設計されています。



Project Fi

これまで Project Fi は @gmail.com のアドレスを持つユーザー向けに提供されていましたが、G Suite に Project Fi との互換性を持たせることで、本日より G Suite アカウント（例: [ユーザー名]@[ドメイン名].com）を使用してお申し込みいただけるようになりました（ただし現在のところ、このサービスをご利用いただけるのは米国内のみです）。Project Fi はデフォルトでオフになっているため、ご利用いただくには G Suite 管理者が管理コンソールで[有効にする](#)必要があります。

注: Project Fi の[グループプラン](#)（英語）の上限ユーザー数は 6 人となっており、大企業でのご利用は想定されていません。

詳しくは、[ヘルプセンター](#)（英語）をご覧ください。

シンプルな使い勝手

機械学習を利用して Google スプレッドシートのデータをその場で視覚化

リリース日: 2017 年 6 月 1 日

 組織で共有

[- トップへ戻る -](#)

最新情報: スプレッドシートの膨大な行のデータを並べ替えるのは大変な作業ですが、このたびリリースされたスプレッドシートの新機能をご利用いただくと、データの視覚化や共有が容易になり、より効率よく情報を分析してチームで対応することができるようになります。

リクエストによる簡単なデータの取得 → スプレッドシートでのグラフ作成

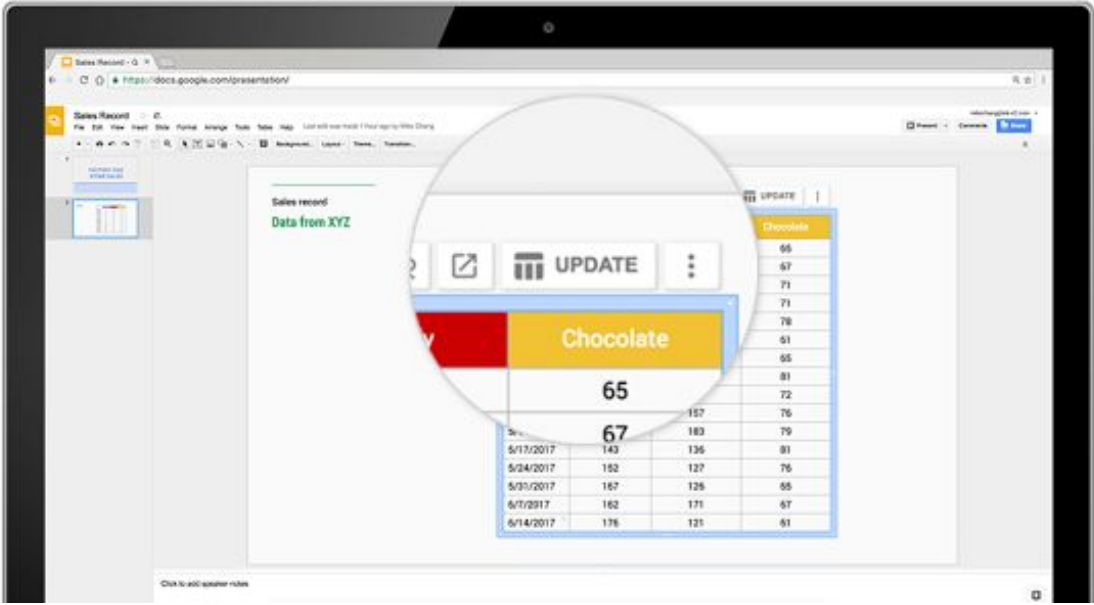
機械学習（英語）を活用したスプレッドシートのデータ探索機能（英語）は、データから即時に情報を引き出すのに役立ちます。質問を、数式ではなく言葉で入力して、迅速にデータを分析できます。たとえば、「what is the distribution of products sold?」（商品販売の分布はどのようになっていますか？）や「what are average sales on Sundays?」（日曜日の平均売上高は？）といった質問の答えを見つけるのが容易になります。

今回のリリースでは、データ探索と同じテクノロジーを利用することで、データをより簡単に視覚化できるようになりました。求めているグラフが表示されない場合は、指示を出します。手動で作成しなくても、「histogram of 2017 customer ratings」（2017 年お客様評価のヒストグラム）や「bar chart for ice cream sales」（アイスクリーム販売の棒グラフ）と入力すれば、データ探索機能によってチャートやグラフが作成されます。これまでグラフの作成にかけていた時間を、新たな洞察に基づいて業務を進めるために使えます。

スプレッドシートのデータを即時にドキュメントやスライドに同期

クライアントへのプレゼンテーションを準備している場合や販売予測を共有している場合などに、データを最新の状態に保つのは時間がかかりがちです。複数のソースのグラフや表を更新しなければならない場合はなおのことでしょう。そこで昨年、ドキュメントやスライドのグラフをプログラムで更新（英語）するのが簡単になる機能を導入しました。

今回のリリースでは、表も簡単に更新できるようになりました。スプレッドシートのデータをドキュメントやスライドにコピーして貼り付けて [更新] ボタンをタップすると、データが同期されます。



その他のスプレッドシートの新機能

Google では、スプレッドシートを使いやすくする方法を常に模索しています。上記の機能のほかにも、お客様からのフィードバックに基づいて、作業時間の短縮に役立つ多くの新機能を展開しています。

- **キーボードショートカット:** ブラウザのデフォルトのショートカットを、スプレッドシートで使い慣れているのと同じショートカットに変更できます。たとえば、Ctrl+ キーを押すと、行を簡単に削除できます。
- **印刷機能のアップグレード:** スプレッドシートのデータの印刷プレビュー画面が新しくなりました。余白を調整する、スケールや配置オプションを選択する、行や列の固定を繰り返す、といった操作を印刷前に行うことができます。
- **新しいグラフ編集機能:** 新たに改善されたサイドバーで、グラフの作成と編集を行えます。ここでは、グラフのカスタムカラーを選択したり、モデルデータにトレンドラインを追加したりすることができます。3D グラフなど、作成できるグラフの種類も増えました。この機能は iPhone や iPad でもご利用いただけます。
- **スプレッドシートの機能の追加:** データの分析に役立つ新機能が追加され、スプレッドシートの機能の合計数は 400 以上になりました。たとえば、Google スプレッドシート独自の関数である「**SORTN**」を使用すると、販売記録スプレッドシートの上位 3 つの注文や最も業績の良い月を簡単に表示できます。「**GAMMADIST**」、「**F.TEST**」、「**CHISQ.INV.RT**」などの統計関数もサポートしています。
- **Sheets API でのグラフのサポートの強化:** API（英語）を使用して、多数の新しい操作に対応したほとんどのグラフをプログラムで生成できます。

なお、上述のグラフの改善に注力するために、モーショングラフなどのあまり使用されていない種類のグラフのサポートを終了することになりました。2017 年 7 月からはモーショングラフの挿入や作成ができなくなり、2017 年 9 月には編集もできなくなります。

2017 年 12 月以降は、スプレッドシートに含まれるすべてのモーショングラフが静止画像になり、対応するデータの更新が反映されなくなります。代替機能としては、バブルチャートをおすすめします。

スプレッドシートを活用して貴重な考察を得る方法については、ラーニングセンターをご覧ください。

ビジネス対応

正確性や信頼性が向上した Google Vault のデータと追加されたその他の新機能

リリース日: 2017 年 6 月 12 日

★ 管理者向けの機能

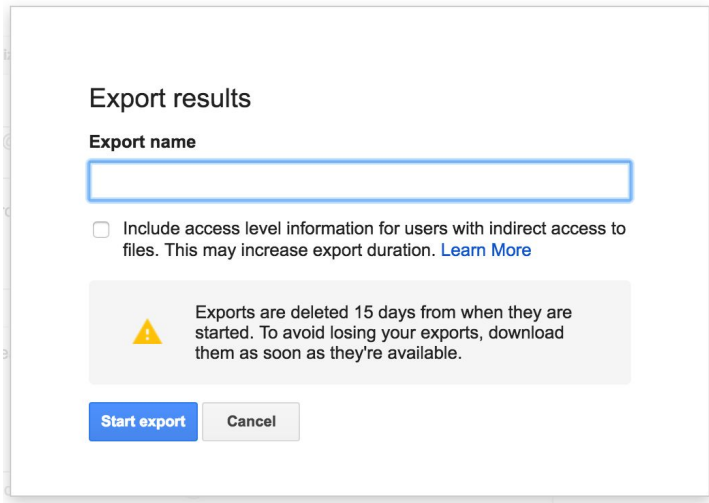
- [トップへ戻る](#) -

最新情報: 法律上およびコンプライアンス上の目的で Google Vault を利用されるお客様にとって重要なのは、目的のデータを確実に保持できること、そしてツールから取得したデータが正確、的確、包括的であることです。このたびのリリースでは、こういったニーズにお応えするための Vault の 4 つの新機能をご案内します。

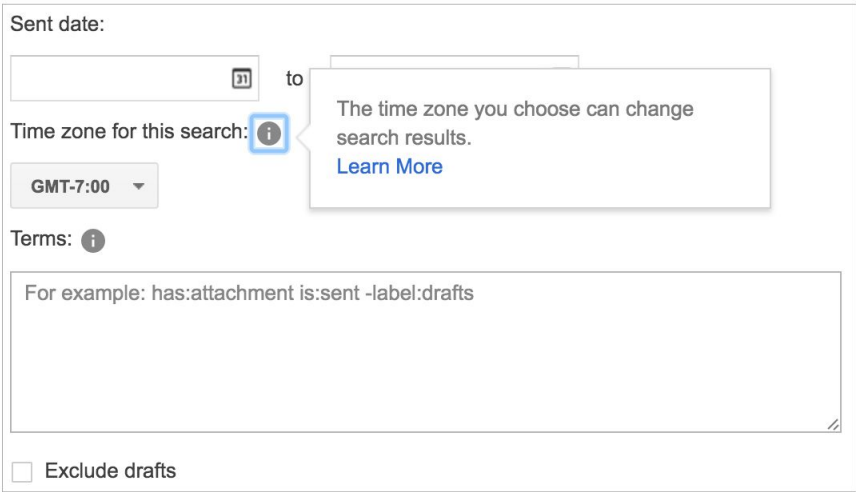
Google ドライブからファイルを書き出す際により詳細なメタデータを取得する
ドライブ向け Vault で特定のユーザーを検索すると、そのユーザーが「間接的」な権限を利用してアクセスしたファイルが検索結果に含まれる場合があります。次のようなファイル（またはファイルが含まれるフォルダ）が該当します。

- ユーザーが属するグループと共有されているもの
- ユーザーのドメイン全体と共有されているもの
- 一般公開で共有されているもの

これまでは、このような検索結果を書き出しても、該当するユーザー情報がファイルのエクスポートメタデータに含まれなかったため、ドキュメントの管理状況を把握するのが困難でした。今後は、間接的な権限を利用してドキュメントにアクセスしたユーザーに関する 情報がエクスポートメタデータ に含まれるようになったため、該当するユーザーを確認できます。また、そのユーザーがどのようなアクセス権（共同編集者、閲覧者など）を持っていたのかを確認するオプションが追加されました。



特定のタイムゾーンで検索する
Vault で検索する日付の基準とするタイムゾーンを選択できるようになりました。選択したタイムゾーンに応じて検索結果の範囲が変わるため、この設定の影響について理解してからご利用いただくことをおすすめします。



すべてのチームドライブに対して保持ポリシーを設定する

特定のチームドライブや組織部門を対象としたオプションはすでに提供されていましたが、ドメイン内のすべてのチームドライブを対象としたカスタム保持ポリシーも作成できるようになりました。

特定の Google グループに対して保持ポリシーを設定する

ドメイン内のすべての Google グループを対象としたオプションはすでに提供しておりましたが、ドメイン内の特定の Google グループを対象としたカスタム保持ポリシーも作成できるようになりました。

Google Vault のこれらの機能やその他の機能について詳しくは、ヘルプセンターをご覧ください。

- ヘルプセンター: データを検索する
- ヘルプセンター: Vault の書き出しの仕組み

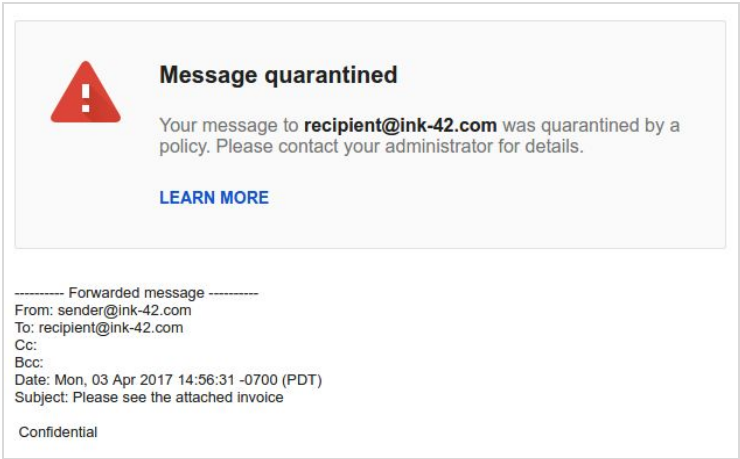
内部ユーザーの送信メールが検疫されたとき、Gmail 管理者から該当のユーザーへの通知が可能に

リリース日: 2017 年 6 月 15 日

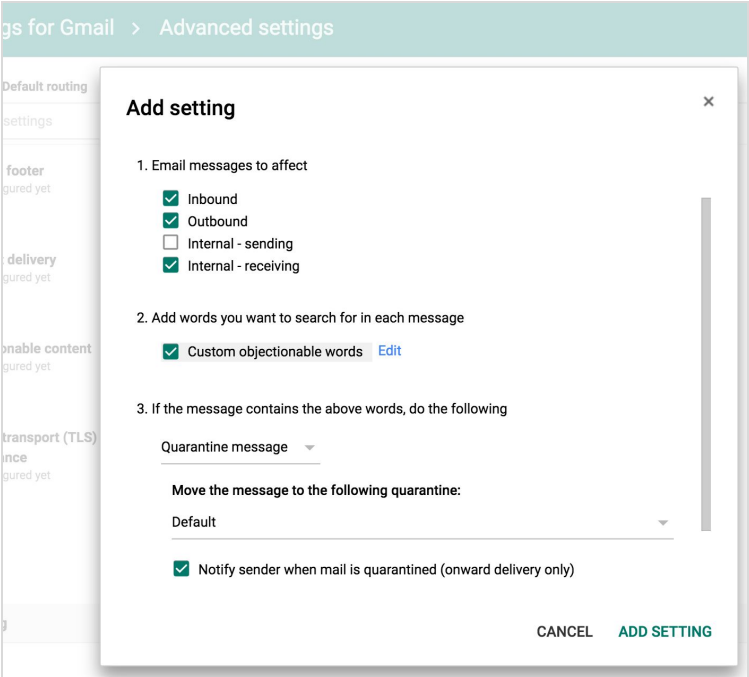
★ 管理者向けの機能

- [トップへ戻る](#) -

最新情報: Gmail のコンプライアンス設定とルーティング設定を利用することで、内部ユーザーの送信メールがコンプライアンス ルールに基づいて検疫されたときに、該当のユーザーに通知するかどうかを Gmail 管理者が選択できるようになりました。メールが検疫されたときにユーザーが受信する通知メールの例を以下に示します。



この機能を有効にするには: 管理コンソールで、[メールを検疫する] のポリシー設定を行う項目の下部に、[メールが検疫されたときに送信者に通知する（配信時のみ）] チェックボックスが追加されています。この機能は、既存のルールに対してはデフォルトでオフになりますが、新しく作成したルールに対してはデフォルトでオンになります。



詳しくは、ヘルプセンターをご覧ください。

- [コンテンツコンプライアンス](#)
- [添付ファイルのコンプライアンス](#)
- [不快なコンテンツ](#)
- [ルーティング](#)

Google ドライブでのチームドライブの作成を無期限で無効にする

リリース日: 2017 年 6 月 19 日

★ 管理者向けの機能

- [トップへ戻る](#) -



最新情報: 3 月にチームドライブをリリースした際、2018 年 1 月 1 日の期限付きで G Suite 管理者がチームドライブの作成を無効にできる設定を導入しましたが、それ以来、一部のお客様よりこの期限を延長してほしいというご意見をいただいていた。そこで、このリクエストにお応えして期限を撤廃し、無期限で組織内のユーザーによるチームドライブの作成を無効にさせていただけるようにいたしました。

なお、チームドライブはプロジェクト用ワークスペースとして利用できる便利なものですので、作成を有効にするよう設定されることをおすすめします。作成を制限するのは必要な場合のみに限定し、この機能の初期展開をサポートいただければ幸いです。

チームドライブのユーザーや操作の管理について詳しくは、[ヘルプセンター](#)をご覧ください。

Asana、Dialpad、Freshdesk、Lucidchart、RingCentral、Smartsheet でのユーザーの自動プロビジョニング

リリース日: 2017 年 6 月 22 日

★ 管理者向けの機能

- [トップへ戻る](#) -

最新情報: サポート対象のサードパーティ製アプリケーションに対して自動プロビジョニングを有効にすると、G Suite で作成、変更、削除されたユーザーはすべて、サードパーティ製アプリケーションでも自動的に追加、編集、削除されます。複数のサードパーティ SaaS アプリケーション間でユーザーを管理する手間が省けるため、この機能は管理者の方々より大変ご好評をいただいています。

このたびのリリースでは、Asana、Dialpad、Freshdesk、Lucidchart、RingCentral、Smartsheet の 6 個のアプリケーションに対する自動プロビジョニング サポートを追加しました。[以前にリリース](#)した Box Enterprise、Salesforce Sandbox、Salesforce、Slack、Workplace by Facebook に対する自動プロビジョニング サポートと合わせて、サポートされるアプリケーションは合計 11 個になりました。

G Suite Business、G Suite for Education、G Suite Enterprise をご使用の場合は、サポート対象の 8 つのアプリケーションすべてに対して自動プロビジョニングを有効にできます。G Suite Basic、G Suite for Government、G Suite for Nonprofits をご使用の場合は、[サポート対象のリスト](#)に記載されているアプリケーションから 3 つまでに自動プロビジョニングを設定できます。

自動プロビジョニングの設定方法について詳しくは、[ヘルプセンター](#)をご覧ください。

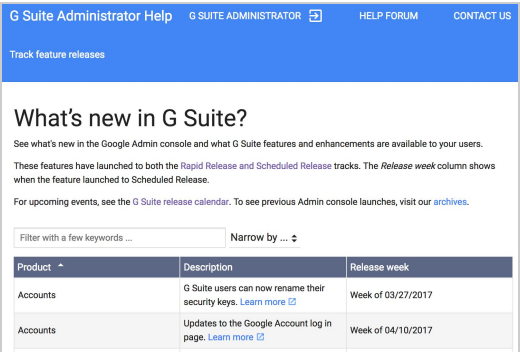
G Suite についてのその他のお知らせ

G Suite のリリース情報を 1 か所で簡単に確認

 管理者向けリソース

- [トップへ戻る](#) -


G Suite 管理者にとって、毎日のようにリリースされるさまざまな新サービスや新機能を把握することは困難な場合があります。[G Suite アップデート ブログ](#)は内容を一目で把握するには向いていないほか、軽微な機能変更については記載されていないこともあります。そこでこのたび、G Suite のさまざまなリリース情報を簡単に把握していただけるよう、[G Suite の最新情報](#)（内容更新中）というページを開設いたしました。このページには、G Suite アップデート ブログでは紹介されていない内容も記載されています。



このヘルプセンターの記事には、G Suite の新サービスや新機能のリストが掲載されています。[即時リリースと計画的リリース](#)の両方のリリース方式でお客様への提供が開始されると、このリストに追加されます。サービス名やリリースの週を基準にリストを並べ替えたり、具体的なキーワードを入力して関連するリリース情報を検索したりできます。[\[詳細\]](#) をクリックすると、より詳しい情報をご覧ください。

G Suite のリリース内容を把握し、組織内に周知するうえで、この新しいリソースがお役に立てば幸いです。今後も改善を続けてまいりますので、ご意見がございましたら、[こちらのフォーム](#)（英語）からフィードバックをお寄せください。

G Suite Show を YouTube で毎週火曜日午前 11 時（米国太平洋標準時）に公開

 組織で共有

- [トップへ戻る](#) -

Gmail のスマート リプライ、ユーザー補助機能、Jamboard、Transformation Gallery をご紹介する新しいエピソード

Jimmy と Lily は、[スマートリプライ](#)の最新情報についてご紹介しました。これまで Inbox by Gmail と Allo で提供されていたスマート リプライが Android 版 Gmail と iOS 版 Gmail でもご利用いただけるようになりました。スマート リプライを使用すると、メールの返信文の候補が表示されるため、返信に要する時間を短縮できます。この機能は、ご利用の端末から簡単に返信する必要があるときに特に便利です。



Jimmy と Drea は、G Suite Show で初めて取り上げるトピック、[ユーザー補助機能](#)について話し合いました。このエピソードは、一般的な機能を中心にご紹介する入門編です。たとえばスクリーンリーダーでは、Mac をご利用の場合は Chrome と Voiceover、Windos をご利用の場合は Firefox と NVDA または JAWS、Chromebook をご利用の場合は Chrome と ChromeVox の使用が推奨されます。

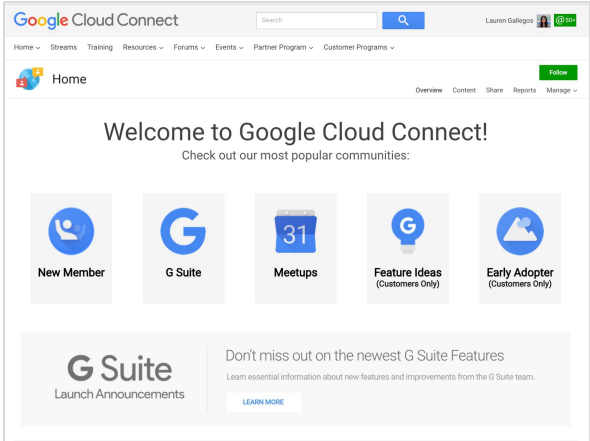
Kevin と Heather は、Transformation Gallery についての[最新のエピソード](#)でフォームやスプレッドシートを使用して勤務時間記録を管理する方法をご紹介しました。このプロセスは、少人数のチームやプロジェクトで時間や予算を割り当てるときに役立ちます。

シーズン最後のエピソードで、Riya と Drea は[G Suite と Jamboard の統合](#)についてご紹介しました。Jamboard は共同編集ができるクラウド型ホワイトボードであり、ユーザーはアイデアを書き留めたり、情報交換をしたりすることができます。また、G Suite と同じように、プロジェクトで共同編集を簡単に行えるようになります。

Google Cloud Connect（GCC） : G Suite 管理者のための公式コミュニティ

★ 管理者向けリソース

- [トップへ戻る](#) -



今すぐログイン: Google Cloud Connect（GCC）（旧 Google for Work Connect）には、G Suite で仕事を進めやすくするためのあらゆるリソースが揃っています。[今すぐログイン](#)し、おすすめの G Suite 使用法についてのディスカッションや質疑応答を通して、他の企業の IT 管理者や Google 社員との情報交換を始めましょう。ぜひご活用ください。[コミュニティ マネージャーの Lauren Gallegos をフォロー](#)すると、最新情報を毎週入手できます。

最新情報: 6 月は、第 2 四半期の編集カレンダーの総仕上げとして、[G Suite と GCP の統合](#)や [G Suite を使用した休暇申請プロセスの自動化](#)（ともに英語）などの情報が追加されました。

また、Kim Wylie による「[チェンジ マネジメント](#)」ブログシリーズでは、「[仕事、人生、チェンジ プロジェクトにおけるポジティブ パワー](#)」と「[従業員をチェンジ プロジェクトに参加させてプロジェクトに携わっているという各自の意識を高め、プロジェクトの成功率を向上させる](#)」（ともに英語）についての記事が紹介されました。7 月も、Google Cloud サービスのさらなる活用例をご紹介します予定です。

G Suite 管理者向けの最新情報の動画

★ 管理者向けリソース

- [トップへ戻る](#) -



最新情報: G Suite 管理者向けの最新情報の動画では、前月にリリースした G Suite 管理者向けのすべての機能をまとめて紹介しています。これらの動画はいつでもご覧いただけるほか、共有も可能です。

使い方: [YouTube の再生リストをブックマークに登録](#)し、毎月の新着動画をチェックします。

最後までお読みいただき、ありがとうございました。
より良いニュースレターをお届けするために、ぜひ皆様のご意見をお寄せください。